

令和6年度第1回 羽曳野市地域包括ケア推進委員会（議事概要）

【 開催日時、場所 】

- ・日時：令和6年6月27日（木） 14：45～15：30
- ・場所：羽曳野市役所 別館3階会議室

【 出席者等 】 ※敬称略

- ・第9期委員：和泉京子、調子和則、木下佳、大友友希、笠原由美子、堀脇芙美子
山下勝己、上野美紀
樋口由美
- ・事務局：保健福祉部 辻西
介護予防支援室 尾久
地域包括支援課 田中 小川 竹内
高年介護課 菊地 辻本
西圏地域包括支援センター 嶋田 池野
中圏地域包括支援センター 大田 赤穂

【 議題 】

1. 委員長挨拶
2. 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画
3. 地域包括支援センターの増設の進捗及び地域包括支援センターの人員配置について
4. 介護予防ケアマネジメント業務の委託契約事業所の承認、及び指定居宅介護支援事業所が介護予防支援を実施する場合の取扱いについて

【 配布資料 】

- ・羽曳野市地域包括支援センター令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画（事前配布資料）
- ・会議次第
- ・令和6年度介護予防サービス計画作成委託契約事業者一覧
- ・地域包括支援センター自己評価票
- ・地域包括ケア推進委員会要綱

【 議事概要 】

1. 事務局（司会）
挨拶、欠席者の報告、資料の確認等
2. 「配布資料及び会議次第」に沿って事務局、各圏域地域包括支援センターより説明・報告
 - ・令和5年度事業報告（決算報告）及び令和6年度事業計画（予算計画）
 - ・地域包括支援センター増設の進捗及び地域包括支援センターの人員配置について
 - ・介護予防ケアマネジメント業務の委託事業所の承認及び、指定居宅介護支援事業所が介護予防支援を実施する場合の取扱いについて
3. 質疑応答

委員：1つ質問させていただきます。一般介護予防事業ですね、一体的事業について、先ほど説明がありましたけど、この一体的実施に当たってですね、我々やっている高齢者特定健診（フレイル健診）の

KDB データを利用して、対象者を抽出するという事だと思いますが、抽出する仕方などは、羽曳野市が独自でしているのですか？

事務局:保険年金課において、後期高齢の健診の後フレイルチェックの項目にどれくらいチェックがついているかによって対象者を抽出しご案内をしております。その判断基準は、国保連合会からマニュアル的に送られてきているものを参考に病気の在り方の除き、KDB データをみて案内をしております。今年度からまちの保健室であったり、いきいき百歳体操のご案内とかを送らせてもらうようにしております。

委員:後期高齢者ですが大阪府の案ですけれども、身体的フレイルの抽出基準というか、それを使用するか否かは市町村に委ねられていますが、この特定健診からわかりやすい抽出基準を用いるという予定は今後あるのかどうか？

ハイリスクアプローチで行うのであれば抽出が少なく、とてもしやすいのですが、そうすると、介護予防としてすごい今後高齢者が増えていくので、その人たちの対策にハイリスクアプローチだけでは少し弱いと思います。ポピュレーションアプローチを増やして、広く実施していくとなると、予算の問題も出てくる可能性もあると思います。その抽出基準をどこまでにするのか、その仕方などは大阪府の広域連合から示されているような基準を羽曳野市独自で作るのかどうか？

抽出基準がある程度クリアになれば、我々が実施している健診では、ある程度質問事項から、この人はフレイルの適用があって、市の事業につないだ方がいいということが、検診レベルでわかりますと非常に拾い上げがいい、我々もフレイル検診を実施しているのですが、そこから予防事業に結びつけることがジレンマをお持ちの先生もおられますので、抽出基準をクリアにしていただけたらありがたいかなと思っております。

事務局:保険年金課の担当とご指摘のあった要件等については確認を行います。特定健診を担当して頂いている先生との調整等もございますので、担当の医師とも協議を行い抽出基準については考えていきたいと思っております。